

令和5年4月23日執行 選挙

津山市議会議員一般選挙 公報

津山市選挙管理委員会

今、津山に必要なこと!

- 専門的農業者の育成と人材の発掘と育成
- ステンレスやメイドイン津山など物づくりの町として全国に発信
- デジタル社会を推進し、スマートシティの実現を目指す
- 市の職員が地域に向き、町づくりを行う「地域担当職員制度」の導入
- インハウンドの取り組みと関係人口の創出

【決意】
少子高齢化問題の解決に向けて行政改革・議会改革を行い、ゆとりある津山を建設していきます!!

昭和42年旧久米町生まれ。岡山県立津山技術訓練センターを卒業後、自営で印刷工業(紙工所)を運営。平成15年、久米町議会議員初当選。平成31年、津山市議会議員初当選。



かつら まさき
正樹

津山の未来へ

笑顔で過ごせる優しい街づくり

高橋としはるの5つの約束



- 教育の充実
 - ・不登校特別支援
 - ・希望児童クラブ入所への支援
- 産業支援
 - ・農地集約化支援
 - ・地場企業支援
- 交通空白地解消へ
 - ・先進地研究から様々な方法、地域での実践実験実施へ
- 議会改革推進
 - ・市民公聴会の実施
 - ・議員定数・報酬の研究、提案
 - ・映画鑑賞会へ
 - ・議教に向けた調査・研究・実現へ



たかはし
高橋としはる

改革力 実現力

これまでの主な実績

- 米価急落時の米価補助支援 ●鳥獣被害対策推進委員の編成
- ふるさと納税のための寄付金控を制定、企業誘致を促進
- 新生児特別定額給付金の実現 ●子供医療費の無料化を促進
- 商業施設への閉店前情報提供 ●総合センターの整備
- 学校施設に及ぶ大規模改修 ●全小中学校の普通教室にエアコン設置

目指します!

- 特別教室へのエアコン設置
- 新しい産業団地の造成 ●新規企業の創出を支援
- 子育て支援を充実させ、継続する子育て世代を応援します。
- 地域力を活かした介護予防の推進を図ります。
- 防災対策の推進を図ります。

プロフィール
昭和32年2月3日 津山市生まれ
昭和44年 岡山県立津山高等学校卒業
昭和47年 岡山大学法学部卒業
昭和50年 津山高等学校教員
昭和54年 創価大学経済学部卒業
平成15年 津山市議会議員
平成19年 津山市議会議員(現4期)



はら
原ゆきのり

未来につながる津山へ

- ・安心して子どもを産み育てられるやさしい環境を
- ・新産業の育成、農林業や地場産業の活性化
- ・歴史・文化・芸術を大切に風情あるまちづくり
- ・個性や多様性を尊重し合うまちづくり
- ・行政をしっかりチェック、政策提案と議会改革

立憲民主党



秋久けんし

夢実現! 新しい未来への政治

1. 鉄道津山空港線構想の推進
現在、空港津山線路の建設が進んでいますが、津山駅を岡山駅へ乗り入れる方がはるかに早く、コストもかきません。
2. ソーシャルビジネススクールの開設
地域課題を解決するソーシャルビジネスを学ぶ大学院開設を目指し、新しい人材育成につなげます。
3. DX/GX産業団地の建設促進
新産業団地は、「脱炭素」「デジタル化」を中心とした企業の誘致を目指します。
4. 津山市版スーパーシティの推進
スマートシティの進化系、住民が参加した未来都市づくりを目指します。
5. 農林業の振興
農林業のスマート化により人手不足の解消を目指します。



なかしま
中島完一

就職氷河期世代の誠実一路
人財を活かす

しからみの少ない
47歳 妻無し 独身

一生懸命勉強し、工学博士を持っている。
何の経験も活かせない世の中、
おかしな思いいませんか?

30歳までは、いままじ山市民の元で働いてます!

TEL 080-2588-6291



福島剛

『あたりまえのこと』を『ていねい』に

1. 拠点都市「津山」の再興
2. 津山発/地域ブランドの育成
3. さらなる/行財政改革



吉田こうぞう

地域の絆を強化

豊かな住みよい津山へ!

- 地域の声を素早く市政に反映。
 - 生活インフラの整備・充実。
 - 地域コミュニティの機能強化。
 - 防災・防犯体制の強化。
 - 交通弱者対策・有償借庫対策。
 - 青少年の健全育成・教育環境の充実。
 - 解りやすく開かれた議会へ。
- 全力で取り組みます。



田口浩二

希望ひろがる津山市へ! あなたに寄り添い働きます!

目指します!

- コロナ禍での感染症対策の充実
- ヤングケアラー、ひきこもりの支援対策の強化
- 子育て支援の充実 ●全ての特別教室へのエアコン設置
- 児童生徒へのがん教育の推進 ●高齢者福祉の充実
- 女性特有のがん検診の推進 ●農林業の推進と後継者の育成
- 教育現場の人手不足を解消
- 男女共同参画社会の推進
- 城東・城西地区の歴史伝統的建造物群保存地区のさらなる充実と観光客の誘致
- 津山の芸術・文化の推進

ほかぞの千晶プロフィール

1966年7月13日 大阪府生まれ
1978年 大阪府立岡谷高等学校卒業
1982年 社会福祉学専攻卒業
現在 岡山県立津山高等学校
1985年 私立創価大学経済学部卒業
1989年 創価大学 社会学部卒業、印刷会社に就職
2004年 津山市へ
2017年 山一水産(株)入社



ほかぞの千晶

地域に笑顔とつながりを まるお勝がめざす社会

- 公平・公正・透明な
津山のまちづくり
- 1 安全・安心・健全な
市民主体のまちづくり
 - 2 地域に必要な人材育成と
教育・スポーツの充実
 - 3 雇用の創出、地場産業の活性化
未来へ続く農林水産業
 - 4 歴史文化を活かした
観光振興の推進



まるお
勝

地域の声を市政へ 俺がやる!!

お年寄りから子どもまで
安心して住み続けられる環境をつくりたい。
子ども達は地域の宝。お年寄りは知恵袋。人々がともに働き、
心豊かに暮らしていくために、地域福祉の向上に努めます。

災害に強い
地域のネットワークづくりを進めます。
「自分達の地域は自分たちで守る」を合言葉に、地域ネットワークづくりを進め、災害に強いまちづくりに努めます。

まつりの文化を通じて、
人づくり地域づくり観光振興をします。
まつりの伝承は、津山の歴史文化の伝承です。津山のまつりを次世代に残し、観光振興に繋いでいくために全力を尽くします。



白石まこと

明日の津山へ

- 5つの約束
- 1 市民参加による透明性の高い市政へ
 - 2 子どもたちが安心して育つ教育環境への整備充実、高齢者福祉、公共交通の充実へ
 - 3 みんなが参加する元気な地域づくり
 - 4 新産業、農林業振興で若者が希望を持ち暮らしてみたい津山、笑顔で暮らせるまちづくり
 - 5 歴史、文化を大切にし、活力あるスポーツのまちづくり



まさおか
大介

(1) (この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

令和5年4月23日執行 選挙

津山市議会議員一般選挙 公報

津山市選挙管理委員会

生き! 活き! ハツラツ! 誠実!!

- 子育て教育** 産後から出産・育児・小中高生までの手厚いサポート
コミュニティスクールの推進
- 雇用** 本市の特性(地価リスクの低い、津波・損害がない)を活かした企業誘致
- 観光** 歴史・文化・食等を中心に(滞在型・インバウンドを求め)外貨の獲得
- 農業** 付加価値を追求した六次産業の推進、農作業の省力化、鳥獣害対策の徹底
- 人生100年時代** 物価高騰等を踏まえ、高齢者の生活安定支援、こもらないためのコミュニケーションの場を設置

ワクワクつやまの創出



村上ゆうじ

- アフターコロナとして経済の復活を目指します
- 金井中核工業団地の早期完売と企業立地
- 地場企業の育成
- 少子化対策と子育て支援
- お年寄りが楽しく生き甲斐のある社会の構築
- 伝統文化を大切に、芸術を高める
- 2024年の山間芸術祭を成功させ観光客の増大を目指す
- 農業振興で食料自給率を高め、林業振興で環境にやさしい津山をつくる



西野修平

活力と安全、安心のまちづくり

- 産業をおこし 雇用を創出します
農林業の振興、地場産業の振興、人材育成に力を注ぎ、地域の活力・雇用の創出に努めます。また、津山和牛の創出とブランド化を図り、農家の所得向上に努めます。
- 安全な暮らしと 都市基盤の整備
津山一岡山間空港道路の早期実現を図り、JTB津山一岡山間の高速化に力を注ぎます。また、少子化対策として幼少期から高校卒業までの学費、保育料、医療費、給食などの負担を少なくする努力を致します。
- 地域防災力の向上に努めます
道路河川計画の見直しや豪雨対策を施し、地域防災力の向上に努めます。
- 城下町津山の夢
日本三大平山城であり堅固な城としても名高い津山城の「天守閣」復元のための基金作りを提案し、基金を作ります。



森岡和雄

命と暮らし優先の市政へ!

- 1. 子育て支援3つのゼロ**
①学校給食費を無料に ②保育料を無料に ③子どもの国保料[均等割]を無料に
- 2. 高齢者のくらし応援**
□国保料・介護保険料の引き下げ
□買い物・通院の足の確保へ公共交通充実
□加齢性難聴者の補聴器購入補助
□住宅リフォーム助成制度の充実
- 3. 農業・中小業者支援**
□農業資材・肥料など物価高騰への補助
□イノベーションなど行苦しい対策強化
□住宅リフォーム助成制度の充実
- 4. ジェンダー平等促進**
□パートナースHIP制度の導入
□女性が安心して活躍できる職場づくり
□セクハラ、パワハラの根絶



みいみ 日本共産党
美見みち子

津山の豊かな自然に育まれた歴史と文化に根差したまちづくり

- ▼教育改革(部活動と高い住民意識の醸成に基づく学力の向上)と子育て支援
- ▼子どもから高齢者まで、地域で見守り支えあえる住民福祉施策の充実
- ▼定数削減をはじめとする議会改革と行・財政改革の推進
- ▼津山の特性を活かした効果的な観光施策・産業振興策の推進



政岡あきひる

ますます元気 ハッキリものが言える議員

- ◇国保料・介護保険料引き下げを
- ◇子育て応援3つのゼロ
- ◇①学校給食費を無料に ②保育料無料化
- ◇③子どもの国保料[均等割]を無料に
- ◇議会のチェック機能の充実
- ◇市政発展へ本音で議論できる市議会を
- ◇婚新婦・因美線の存続で市民と通学生の足を支えます
- ◇いじめ・虐待をなくして子どもや高齢者が安心して暮らせる地域を
- ◇津山の歴史と文化を生かした街づくり



すえなが 日本共産党
末永弘之

津山市議会を変え、 “よりよい津山”を創るため、

拓一択。

- 暮らしを守る。** 時代に取って追いつけないよう、デジタルに遅いついた施策の推進をテックノゾリ活用で実現していきます。
- 子どもを守る。** 未来そのものである子どもたちの権利を守りつづける。今の暮らしの充実を図るべく力を尽くします。
- 津山を守る。** あらゆる手段で津山の市のリソースを確保し、市民ニーズに寄り添った“よりよい津山”を共に創りましょう。

【プロフィール】
1978年生まれ(44歳)、岡山小一北岡中一津山高一中央大(経済)、しがみのない夢の実現を目指し、2019年の津山市議会議員選挙に出馬、議会活性化議員特別推薦を受けて議会幹事に就任。子ども安心事業、デジタル行政推進、若者就業、観光振興、防災危機管理を軸とする多岐分野で活躍。上野原にて妻と暮らす。



みづらひろき

上山はるうみ 三つの矢

- 津山の未来を守るためのお約束
- 第一の矢 魅力あふれるまちづくり**
人口減少から人口増加へ、観光客減少から観光客増加へ市民が希望と安心の実感できる魅力あふれるまちづくりを目指します。
 - 第二の矢 若者、子育て世代から長寿世代まで**
子育て世代から長寿世代までのやさしいまちづくり。若者、子育て世代、そして長寿世代の代表として新しい風を市政に吹き込みます。
 - 第三の矢 安心安全なまちづくり**
地域社会の自助、共助活動の支援
災害、非常事態発生時の確かなまちづくり



上山はるうみ

市民の笑顔のために!

- 子育てと教育に笑顔を!
 - 経済と雇用に笑顔を!
 - 健康と福祉に笑顔を!
- 3つの約束
- 教職33年の経験を活かす
津山立育実小、津山中、鶴山中、蘭北中等に勤務
趣味はバスケットボール、ドライブ
2019年4月初当選、総務文教委員会副委員長
- 個人演説会
4/19(水) 18:30~
場所: グリーンヒルズ津山・リノベーションセンター



かわむら
河村よしのり

青少年に夢と希望を 高齢者にぬくもりを

- 私の決意
- これまでに培った実績と経験を生かし、「継続は力なり」「継続は自信なり」を信条に、今までの課題、そして新たな問題に全力で取り組んでまいります。
- 取り組み重点課題
- 一 法外な削減、魅力あるまちづくり
 - 一 行財政改革の推進
 - 一 安心安全なまちづくり
 - 一 ESG、スポーツ、武道の推進と青少年の健全育成
 - 一 高齢者福祉の推進



おかだ やすひろ
岡田康弘

- 安心・生きがい・豊かさを
実感できる津山へ
- 安心の津山 福祉・防災・減災
 - 活力の津山 産業・インフラ整備
 - 未来の津山 教育・財政
 - 津山を元気にする4K 高度福祉・教育 環境・観光



岡田康弘

- ① 津山を活力ある街にするため
 - ② 私の街は津山です。と胸を張って語る街づくり。若者が居つく街づくり。子供・お年寄りが安心して暮らせる街づくり。観光・豊かな自然と歴史を生かし、充実を図る。家庭・地域・自然を大切に教育の充実。食糧自給・食と水とを大切に守る。企業誘致による若者の働く場の確保。
 - ③ 公約: あなたの声を聞きまします。届けます。
- 好きな言葉 この世は、自分を押しにきたところ



河本ひでとし

令和5年4月23日執行
選挙

津山市議会議員一般選挙
公報

津山市選挙管理委員会

私の政策の基本理念は
わかりやすさ
生活しやすさ

介護・医療

- ☆お年寄り世帯への支援充実
- ☆介護・医療の問題を現場の声から支援
- ☆必要の人に寄り添った行政の仕組み

子育て・教育

- ☆子育て世代の安定就業環境の推進
- ☆要支援児童、家族へのサポート体制の充実
- ☆2人目以降の出産支援、環境の構築

農業

- ☆農地の継続利用支援、放棄地の再利用対策
- ☆新規・後継就農支援、農業法人化支援
- ☆生産・加工・商品化を一元化
- ☆新たな地域産産を宣伝まで支援



いち
市まなみ

キラリと光る、女性のチカラ。
あなたのために働きます！

主な実績

- 政治帰郷者クラブの手洗い場の増設と支援員の派遣実施
- 人工内月経外用薬の処方 ●高齢者の自動車を安全運転講習の実施
- 母子健康手帳アプリ(院内)の導入で子育てのオンライン化実現

目指します！

- 選挙帰郷者クラブのさらなる増設と支援員対策を実施して、「誰ひとり取り残さない津山」を目指します。
- 女性の多様な役割を推進し、働き、子育て、教育の両立も実現します。
- 子育ての安心感・満足感・楽しさ・誇りを行政が応援していきます。
- SDGs(持続可能な開発目標)を軸としたまちづくりを目指します。
- 子育て世代が安心して生活できるまちを目指します。

ひろたに桂子プロフィール

- 昭和34年1月18日 尼崎生まれ
- 愛知県立東山高等学校 卒業
- 昭和54年3月 津山女子短期大学 卒業
- 平成9年〜愛知県社会福祉専門学校 15年間勤務し、主任講師等を務める
- 平成27年4月 津山市議会議員初当選(現2期)



ひろたに桂子
公明党公認

金田としひさの挑戦に
あなたの力を。

市民目線で改革

津山リフォーム!!

課題を解決へ

市民の命と暮らしを守る	物価高騰	子育て支援
小中高校再開	所得向上	コロナ後の社会づくり
出生数 雇用	JRローカル線	交通空白地 医療
子育て 移住 空き家 農業	米田 農地 山	
統制慣例主義の行政	閉塞感	新産業育成 観光
歴史文化	ソーシャルビジネススクール	など

しあわせ・よろこび・安心
夢が叶えられる津山へ



金田としひさ

津本たつみの提言

- 人口減少対策＝生産労働者人口の拡大
[子育て支援の拡大・中山間地域活性化・雇農奨励・新産業支援]
- 雇用の拡大と若者定住の拡大
[新産業地域の造成]
[独自の人材育成＝公立大学設置・18歳の雇用削減、若者対応施設の新設]
- 危機管理対策
[雨水・土砂災害対策] [通学道・無保護区画]
[防災灯設置]
- 歴史文化財の保存活用事業による地域まちづくり
[人的交流拡大＝地域活性化]
[廃土庫の醸成＝子ども地域学芸員制度の設立]
- 生活弱者対策
[障がい者の社会参加支援]＝福祉連携事業の推進
高齢者の安全安心対策の充実



津本
たつみ

「清熱」と「行動力」で
活力ある津山市へ！！

『情熱』と『行動力』をモットーに、活力ある津山市へ！！のスローガンで20年間取り組んでまいりました。活力ある津山市創造のため、下記の抱負を掲げ一生懸命取り組んでまいりました。

- 若者の雇用対策と定住化の促進
- 若者が安心して子育てできる津山市へ
- 道徳教育の充実により、思いやりのある人間形成
- 文化・スポーツ等のさらなる振興の実現
- 高齢者の生きがいあふれる津山市へ
- 農林業活性化、振興の推進
- 生活弱者の声を忠実に聞く



松本
たかし

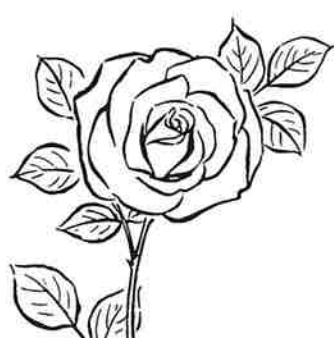
明るい明日を目指して
パワー全開!!

～寺坂のり子 4つの想い～

- ①活力ある地域づくり
 - ②子育て支援・高齢者支援
 - ③教育・スポーツ文化の振興
 - ④女性活躍の推進
- プロフィール
昭和35年2月生まれ(63歳)
江見商業高校卒、金融機関・衆議院議員元秘書・(株)グリーンベルト勤務、津山市男女共同参画町づくり審議会 副会長、南北女性ゼミナール会長 趣味:ドライブ・食べ歩き(肉大好き!!)



寺坂のり子



令和5年4月23日執行
選 挙

津山市議会議員一般選挙
公 報
津山市選挙管理委員会

投票日 4月23日(日)

投票時間 午前7時から午後6時まで

- この選挙公報の掲載の順序は、抽せんによって決められたものです。
- この選挙公報をよく読んで、自分の考えで一票を投じましょう。

◆ 注 意 ◆

- 投票所へは、入場券をお忘れなくご持参ください。
- 入場券をなくした人は、投票所受付で係員に申し出てください。
- 3月17日以降の市内転居者は、転居前の投票所で投票してください。
- 入場券が届いても投票日までに市外へ転出した人は、投票できません。**
- 投票日にやむを得ない用務などで投票所へ行けない人は、
 - ①4月17日(月)～4月22日(土) 午前8時30分～午後8時
津山市役所(東庁舎1階会議室)、加茂支所、阿波出張所、
勝北保健福祉センター又は久米支所
 - ②4月17日(月)～4月22日(土) 午前10時30分～午後6時30分
イオンモール津山2階イオンホール(津山市河辺1000-1)
で期日前投票ができます。



「白バラ」は明るい選挙
推進のシンボルです。

一票の自覚が築くわが郷土